TITAN Talent Info.

Twitter
Instagram
YouTube

爆笑問題 ▶
ラジオ朝日「爆問×松山の剃らずル～ル」、TBSラジオ～ジャガポ」、ETV「太田光のつぶやき英語」「0655」「2355」、日本テレビ「秘密のケンミンSHOW極」(中)、中京テレビ「太田上田」、TBSテレビ「爆笑問題カーボーイ」「日曜ドラマ」、J-Waveラジオ朝日「熱闘!Mリーグ」(中)、太田光の人間関係/人脈「笑こそ人類」感謝中!
太田光 田中裕二

脳みそ夫 ▶
こんちわ～す! さうしく～す!
ガッツなキャラで中高生にエスパー人気。千葉県白井市のひろいふるさと大使。
YouTubeで「脳みそ夫ペスペスル」「脳みそ夫ケフケフペスル」更新中!
脳みそ夫

まんじゅう大帝国 ▶
令和元年度 国立演芸場 花形演芸大賞 銀賞受賞
勢力を拡大し、「笑いゆく」DVD販売・配信・学生落語会を全国巡業・凛々勝の02人が漫才師に。
真山 裕 / 田中 裕二

タニエルズ ▶
「決戦!お笑い有楽町」優勝
敦賀のコンビ中でも、ネタでの女性キャラは「元一見さん」を惹きつける間違いなし!「シャクレ芸人グランプリ2021」3位入賞。
ウエダ / 関 優太郎

タコニスズ ▶
やってみたいピ朝日
「ワンーとるイバイーチャー」優勝
ヤクザは「ボーイーチャーPONEY氏と「先輩万歳」優勝。MVはヤクザ3兄弟「FUTANOGO(双子)」。
ピ朝放送 / ピ朝 やっちゃん

日本レンキチ少連合 ▶
青春のトラウマにおさらばしたい
見た目のトラウマを与える狂気のキャラクターコンビで多くのファンを掴みをつかこと。「夜電/ラバ/」配信中。「14年「流行語大賞」受賞。
青ヶ江 大輔 / 中田 敦彦

村崎太郎・次郎
日光さる軍団 校長
一度、義名と伝説義眼まれ人を復活させた第一人者。'22年7月に日光さるランドサンリ一ブルオーブン。

ゆりあり ▶
コンビの相方は「猿」
至極の猿芸をご覧あれ! 先代(いく)が'19年に永眠。2代目(現在は幼名(ろ)ろ)動、新たにYouTubeチャンネル「ゆりあ(ゆ)ーブル」を週2回更新!
ゆりあ(ゆ)ーブル

ミラーボール3号室 ▶
「ABCお笑いサンリ」
深夜帯の人気太る酒場。国立ピ出身の落語御歴16年の伊田ひとをイラ(リ)ンピ。「歌まる王」'18・19・20年決勝進出。
伊藤 裕 / 大東 俊介

XXCLUB ▶
「パ!ネ!ル!」
ピ朝放送 / 東京ボ!ル!
ピ朝放送 / 東京ボ!ル!
ピ朝放送 / 東京ボ!ル!

YouTubeでコントチャンネルをやってみてわかったこと

何者なるぞ 爆笑問題

YouTube チャンネル「爆笑問題のコント テレビの話」を立ち上げて約半年が経過。コントもたっぷり愉しむ太田サンと、コントでもこってりイジられている田中サン。爆笑問題が本紙に登場するのは実に5年ぶり。くしくも爆笑問題結成 35 年 !! とゆーことで、御二方それぞれに“雑談”形式インタビューを敢行。YouTube でコント配信という新たな試みでわかったことなどをメインに、GOGAI 的「爆笑問題のコント」の愛（め）で方もお届けします。

毎週金曜配信

爆笑問題のコント テレビの話

シットコム形式でおくるコントチャンネル。ワイドショー番組を制作する「河田制作」を舞台に、制作スタッフたちが時事ネタを織り交ぜた可笑しな掛け合いを繰り広げていく。【主な登場人物】大炎上馬鹿ノ介（太田光）／片玉良夫（田中裕二）／河田キニ（BOOMER 河田）／悪口豆助（ウエストランド井口）／代役亮太（シティホテル3号室川合）／あさひ（ダニエルズあさひ）／局員富士雄（ダニエルズ望月）／社長黒幕（太田光代）ほか。

田中裕二　35年間で何度も沸き起こる爆笑“モンダイ”

爆笑問題35年の間で何度も上がる議題とは？

——「爆笑問題のコント テレビの話」がスタートして約半年が経過しました。反響はいかがですか？

田中　始めた頃は色々言われたりしましたね。YouTubeチャンネルを開設して、まさかしっかり作り込んだコントをやるとは思われてなかったみたいで、驚かれることが多かったですね。

——“しっかり作り込んでいる”という点について。今回、本番収録前の稽古日を見学させていただきましたが、思っていた以上の熱量の高さでした。

田中　稽古で本読みをしっかりとやっても結局、本番になると本読み通りにいっていない。なんかグチャグチャとやっていますよ（笑）。

——すでに50話以上（4月1日現在）が配信されていますが、とにかく田中サンが怖がったり、痛がるシーンが多いですよね。“ビビリタナカ、イタがりタナカ”など、密かにカテゴライズしているんですけど…（笑）。

田中　ビビリタナカは、ロシアンルーレット方式でビリビリするベンを握る回とかだよね!? 電気系が大の苦手なんだけど、昔からあるベタな罰ゲーム的なものを何回かに1回の割合で放り込んでくる。それがイヤ!!　イタがりタナカはゴムパッチンをやる回だよね…。とにかく痛いのはイヤッ!!

ビビリタナカ
#39　絶対合格！？これが最強受験テクニック！？

——イタがりタナカは、企画的なモノのほかに地味につねられたり、蹴られたりしている場面も多い印象です。

田中　それは常にイヤッ!!

——ですよね(笑)。

田中　爆笑問題35年の歴史の中で、太田と僕の間で幾度となく議題にあがっていることでもあるんですけど。太田が必要以上に暴力性を出してくるのを、僕も共演者たちもマジで怖がっている…。コントで叩いたり蹴ったりという所作で、手加減してわざと痛くないようにすることが“笑えない”のはわかるんだけど…。太田は思いっきり本気でやるという信念を持ってやってくるんですよ。それは誰が何を言おうと変わることはない。ただ、ホントに痛いのよ!!　しかも、それがコントのストーリー上で必然なものではなく、全然関係ないところでやってくるから…。例えば、ふざけて股間を握るとかを本気で握ってくるから…。叩くのは音が派手だったり、見てわかることだけど、股間を本気で握りつぶそうとするのは必要ありますか？って話なんです。お笑いならそこは怖がらず、引かずにいけというものだけど、僕は咄嗟によけたり、目を閉じちゃったりしちゃうから…。

——体の防御反応ですよね。

田中　そう、反射的に。目の前でパチンと叩かれたら瞬きをしちゃうだろと、僕はよく言うんだけど、太田はそれを許さないのよ。

——ラジオなどでその“議論”をよくされているイメージです。

田中　股間を握りつぶしてくるのは、まだギャグになっているけど、ホントに全然関係ないところで二の腕を思いっきりつねるとかをやってくる。つねってるところも映ってないし、意味がない!　突然、僕がイタタタタタって叫ぶだけ(笑)。田中が痛がったほうが面白いという太田なりの意見だと思うんですけども…。で、最終的に「痛いのはイヤ!　別にそれでウケなくていい! じゃあオレは芸人でもなんでもない!」という話になるわけです。

——35年間という長きにわたって繰り返されてきた爆笑問題“闘争”の結論は…。

田中　出てないですね（キッパリ）。

田中サン味出まくりの表情に注目してほしい

——前出のビビリタナカ、イタがりタナカは、普段の司会業ではあまり見られない田中サンのリアクションを愛でることができるカテゴリーです。その一方で個人的に注目というか、声を出して笑ってしまうカテゴリーが田中サンの表情部門。

田中　表情？　うんうん(笑)。

——特に真剣に謝るときのカオ。#42で田中サンが土下座で謝罪するシーンが登場しますが、そのときのカオの“煮しまり具合”が絶妙で(笑)。以降、ちょいちょい“アヤマリタナカ”が登場します。

田中　あれは太田が入れた。一切ふざけることなく真剣に謝れという太田の演出。（以後ちょいちょい出てくるのは）太田が気に入ったんじゃないかなあ…。

アヤマリタナカ
#42
プロデューサーの闇！決死の告発！

——そして、もう一点。見どころの一つでもある“田中サンVS井口クン（ウエストランド）”で時々見せる表情…の可笑しさです(笑)。#1から出演している井口クンの“口撃力”が回を重ねるごとに増していく印象でしたが…。

田中　あの“口撃”は、井口の持ち味だからいいんだけど…。それでM-1チャンピオンまで上りつめたからね。これからもっともっと、たけしさんや有吉みたいに「その道」で行ったらスゴイなと思うけど。昔、（ウエストランドの）「ぶちラジ！」で、井口が僕の悪口を言っていたとか間接的に聞いて、「あんのヤロー!!　オマエなんか隅っこでやってろ！」って言ったことがあって。

——その田中サン発言も井口クンによる“田中サン漫談”の一つに加わりましたよね。

田中　あのときはホントにムカついたんですよ。で、ゴチョゴチョ裏でやってんじゃねーよ！と。それで“隅っこ発言”が出たんだけど（笑）。その後は、他の番組とかで絡んでいるし、そこからムカつくわけでもないんですけどね。

——井口クンのアドリブのセリフ（主に悪口）がどんどん乗って来ちゃっている最中に抜かれたときの田中サンのカオが…。

田中　アイツがよく言う目がビー玉ってやつでしょ？(笑)

——ビー玉も含め、カオ全体が“凍ってる”と申しますか…(笑)。

田中　あはははははは。凍ってた?　そーなんだ(笑)。

——そのカオが、田中サン味（み）が出てるなあ…と、可笑しくて。あれは何らかの演出ですか？

田中　演出じゃないですよ。コイツ（井口）どこまで言うんだろうな、と見ている。で、どんな返しをしようかと考えているときのカオなんでしょうね。それで僕が井口に応戦せず、ちょっといなしたり、すかしたりしちゃうことがあって、それは太田がめちゃめちゃ怒ってました。バチバチにやり合うのが面白いんだし、それで井口も生きるんだから、ちゃんとやれよ！って…。そんな井口がもう今は、僕たちのコントに出てくれなくなっちゃったもんね（笑）。

——ウエストランドはM-1王者として、超絶多忙ですからね。

田中　だよねぇ（しみじみ）。でも、忙しくてこっちに出られない状況というのは、喜ばしいことですよ。

好きなモノをヤバイ熱量で語るノリノリタナカが見たい！

——田中サンが好きなモノを語るときのヤバイ熱量が出ていた回（#16）も田中サン味（み）があふれています。こちらは“ノリノリタナカ”と勝手にカテゴライズしています。田中サンの〇〇愛に注目する回が今後も増えてほしいと願っていますが…。

田中　それは需要がないでしょ（笑）。昔から歌謡曲を絡めた番組をやりたいと友近とよく言っているけど…。昭和ポップスとか、80年代歌謡曲とかが今流行りつつある中、まったく来ない!　そういう仕事。ホントに（笑）。

ノリノリタナカ
#16
昭和アイドル愛！片玉踊る！？

——では、その歌謡曲愛は引き続きコントにぶつけていただけたら、と思います。ノリノリタナカ回に期待を込めて。

イタがりタナカ
#28　作・桝本壮志 NGだらけのテレビに物申す！

痛いのはイヤだよ

太田　光　爆笑問題が結局、たどり着くところ

あの田中は素の田中だよ

——太田サンのコントをやりたいという思いは、'17年の本紙取材時に語られていたので、最初にYouTubeを始められると知ったとき、いよいよ連続的にコントをやられるのだな、と個人的には推測していました。テレビの制作会社という設定も、太田サンのアイデアなのでしょうか。

太田　そう、オレ。最初は週刊誌の編集部とかも候補にあったけど、何が一番ハマるのかとスタッフと相談して。ネタとしてはワイドショーが一番いいとなって、（コントの舞台を）ワイドショー番組の制作会社にしようと決めたんですよ。

——スタートして半年以上が経過しました。

太田　毎回、楽しんでやってきた中で、上田（くりぃむしちゅー）や、あっちゃん（オリエンタルラジオ・中田）が来てくれたり。少しずつ肉付けができて、作っている我々も、見ている方にも、楽しみ方に枝葉がついてきた感じはありますね。

——爆笑さんのコントを初めて見たという方も多いハズ。私の周りでも、爆笑さんの初期＝コント時代を知らなかった友人が、当チャンネルを見て、田中サンの“どうかしてるっぷり”に驚くとともに、それが面白くて#1からイッキ見したそうです。

太田　それは嬉しいね。あの田中は、素の田中なんだけど（笑）。メインでMCをやっているときは、なかなかあの感じは出ないからね。

——爆笑さんラジオのリスナーさんにはおなじみの“田中サン”ではありますが(笑)。

太田　そうそう。普段ラジオでやっていることをこっちでもやってるようなものだから(笑)。

田中のシリアスモードを逆に生かして笑いへ

——コントの設定はこのまま続いていくのでしょうか。

太田　絶対に変えない、というわけではないけど…。この設定のまま、また違ったものになっていく可能性があるんだよね。それこそ、田中の異常性というものがどんどん膨らんでいっているから。逆にあの会社ではない、別のところにいる田中を切り取るコントにするとか。そういうのも出てくるかもしれない。

——確かに、“変化”という点では、#42で田中サンが謝罪してから、謝罪シーンが多発しています（笑）。

太田　そうそう、あそこを膨らませているから。あれがさらにどう変化していくか、だよね。あれは、橋本（日本エレキテル連合）が制作会社から抜ける理由を考えているときに、田中がセクハラしたら面白いかな、と。で、その設定で作家が書いてきた内容は、割と軽いトーンのものだったんだよね。それで直しを入れて。

——本編での田中サンは、シリアスな表情でした。田中サンご本人にも伝えましたが、個人的にそのシリアスなカオに笑ってしまい…。

太田　田中ってあーゆー芝居しかできないのよ。重い芝居。普段はもっと軽やかにやってくれって言ってるのに、どうしても重い表情になっちゃうの。だから、逆に内容をシリアスにして「ナニこれ!?」という感じを作りたい意図があった。それが面白いと思ったし…。常にあのネタを振れば田中はシリアスモード。しつこいぐらいにやったら面白くなるのではないかと思って。

——シリアスモードとはちょっと違うかもしれませんが、爆笑さんの30周年単独ライブで、田中サンがポレロを踊った姿を思い出しました。え、急に踊り出した！　え、スゴイ真顔!!　あのときも声を出して笑いました。

太田　フフフフフフ。あれ、ダメだったんだよ。客席の反応がイマイチだった（笑）。

——田中サンの真顔もシリアスなカオも、超個人的“笑いのトリガーポイント”なんですが…（笑）。

太田　オレたちの初期のコントのときは、テーマがいじめだったりしたから、田中がいじめられっ子を演じると、より深刻になってしまいがち。もう少し軽くやってくれと、何度も練習したけど、結局、シリアスなカオになっちゃうの。田中のそこをわかりきっていたから、逆にそれを楽しんじゃおうとなった。田中のことを知っているヒトは、面白いんじゃないかな。知れば知るほど、あのカオは面白いと思う（笑）。

全力で！ 真顔で！ ポレロを踊る田中サン！ 拙者が選ぶベストシーンでもある。GOGAI 2018.10 月号に寄せたコラムにも、ポレロを踊る田中サンについて触れていた…。田中サンを「コドモおばさん」と呼んだ太田サンのセリフと、全身全霊真顔でポレロを踊る田中サンに声を上げて笑った、と。

結局、爆笑問題がたどり着いてしまうところ

——前出の爆笑さんコントにハマった友人に、念のため太田サンの印象も聞いてみました。「太田サンってあんなにしつこいの？」とのこと。逆に“新鮮”でした（笑）。

ん？

助けてくれ～!!

太田　アハハハハハ。

——YouTubeをきっかけに、爆笑さんの魅力のひとつが伝わって良かったなあと。

太田　それはホントに嬉しいね。YouTubeは（コンテンツが）残り続けているので長期的に見てくれる可能性も大きい。どんどん受け口も広がっていく。認識が高ければ高いほど、その世界に入っていけるから。これはちょっと新しい経験でしたね。

——見る方それぞれ「テレビの話」の楽しみ方があると思いますが、GOGAI的オススメは、まずは田中サンの凍ったカオに注目を（笑）。

太田　凍てついたカオね（笑）。だから、我々爆笑問題というものは、最終的に田中にフォーカスしていくことになるんですよ。いつも。常に。一番異常なのはコイツ（田中）だ！と。若手の頃からずっと田中にピントを合わせざるを得ない。どんなことをやってもそうなっていくんだよね。もう一度、映画「感染列島」とか、アイツがマジで演技している作品を見て欲しいんですよ。どんだけアイツがクサイ芝居をしているかってのを見て欲しい。ところが、そんなアイツの芝居が評判いいんですよ…。アイツの演技というか、あれしかできないんだということをオレは強く主張したい。ホントに!!

——アニメの吹き替え作品などの田中サンの演技についても、太田サンは主張されていますよね。

太田　まさにそう。歌うようにセリフを言うパターンと、あとはクサイ演技。その2パターンね（笑）。

——「テレビの話」の今後について。

太田　どのように転んでいくか。なんとなくの方向性はあるんだけど、やってみながら、こっちの道にいくか、あっちの道にいくか…みたいな感じ。それはそれで楽しいというか。やってみながら生まれてくるものもある。続けてみると、わかってくると思う。

タイタン公式サイト内【GOGAI.Web】では、本特集の連動企画を展開

Making

メイキング回も要チェック。リハーサル風景、本番収録の様子など、コント制作の舞台裏に密着。

Guests

上田晋也（くりぃむしちゅー）　#33　#34

中田敦彦（オリエンタルラジオ）　#43　#44

大久保佳代子（オアシズ）　#48　#49

今後もさまざまなジャンルのゲストが続々登場！

Collaboration

オリラジの2チャンネルにコラボ出演。爆笑問題が各チャンネルでYouTubeを始める経緯などを語っている。

中田敦彦のYouTube大学

藤森慎吾のYouTubeチャンネル